

8-5-2 情報新技術専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会開催

専門委員会開催：8回

(うち、セミナー開催1回)

(2) 活動の目的

建設コンサルタント技術者として、インフラ整備分野（日常業務遂行分野を含む）や新たな業務形態などに活用が期待できる情報技術（ICT）に関する先端技術をリサーチし、その活用について研究するとともに、協会員に情報提供を行う。

(3) 主な内容

a) 情報新技術のリサーチ

情報新技術にかかるテーマとして「5G」及び「生成 AI」に着目し、最新の通信技術動向や生成 AI の活用方法などについて調査を実施した。

b) 情報新技術専門委員会セミナー「5G ソリューション技術」開催（9月5日）

近年、5G を活用したテクノロジーやサービス・ソリューションが身近なものになり、様々な分野で活用されるようになってきた。令和4年3月に国土交通省が公表した「インフラ分野のDXアクションプラン」では、様々な施策が提案されており、インフラ管理をはじめとした業務分野において 5G 通信サービスの活用など、革新的技術のインフラ分野への適用が期待されているところである。

以上のような背景を踏まえ、5G を活用した各種サービスを展開する事業者を招き、5G 技術の現状、5G を活用した調査・点検及び新たなソリューションなどについて講演いただいた。

本セミナーは、173 名が聴講し、セミナー後のアンケートでは、講演企業の選定が適切であった、事例が多く紹介され参考になった、内容の深い講習であったなどの意見が寄せられ、好評を得た。また、参加者からの反応（自由記載による意見）を見ると、「社会インフラへの DX 適用についての可能性について見識を得ることができた」「ネット通信の高速化がインフラにどう影響を及ぼすのか理解が深まった」「5G については高速・大容量通信というほか、あまり知られていないかと思うが、今回の講演で、ローカル 5G 及びその活用に関する現状について知ることができた」「建設部門の DX において、通信インフラの整備の重要性を改めて認識した」「5G の広域化や、不感地帯での運用などが汎用化すれば施工や調査の効率化に寄与すると期待」等の前向きな意見が多数寄せられた。一方で、ログイン可能な時間に余裕を持たせてもらいたい等の運営面での課題も明らかになった。

c) 自動運転 WG への参画

別途検討が進められている自動運転 WG に参加し、自動運転技術と ICT 技術への対応について提案したほか、自動運転社会実現に向けた業務提案や実現シナリオにかかる議論に参加した。

2. 次年度の活動について

来年度は、主として「生成 AI」技術にかかるリサーチを進めるほか、建設情報に関連した情報技術の動向調査などを継続的に実施し、有益な情報については会員に情報をフィードバックする予定である。

(情報新技術専門委員会委員長 佐々木 晋)

表-1 情報新技術専門委員会セミナー「5G ソリューション技術」 開催概要

開催日時	9月5日(金) 14:00～18:00
開催方式	(株)直伝スタジオからのライブ配信
参加者数	173名(CPD証明書配布数)
講演 1	(株)NTTドコモビジネス 辻野様 ドコモビジネスのプライベート 5G のご紹介
講演 2	NEC ネットエスアイ(株) 久留様 オールインワン・コア一体型ローカル 5G システム「HYPERNOVA」のご紹介
講演 3	NTT ビジネスソリューションズ(株) 平田様 ローカル 5G 一体型基地局の建設現場におけるユースケースについて
講演 4	日本電気(株) 小島様 石川県小松市様 ローカル 5G を活用した高速大容量データ通信および高速走行車両検知技術に関する通信技術等の実証実験について
登壇者によるトークセッション	5G ソリューション技術にかかるトークセッション